

連携研究実施報告

2014年6月10日（火）、プロジェクトの川崎研、黒沢研、塘研が連携研究「プロジェクトの成果の普及に向けた裏磐梯のガイドを中心とするエコツーリズム関係者のヒアリング」の一環として、裏磐梯エコガイドの会に所属しているガイドの方10名に対するヒアリングを裏磐梯サイトステーションにて実施しました（同時にアンケートへの回答依頼もさせて頂きました）。ヒアリング内容は五色沼自然探勝路やその他の探勝路で実施されているガイドの内容、ツアー客からの要望や質問、ガイドが感じている問題点などです。3研究室の教員、客員研究員、院生、学類生合わせて11名が参加し、マンツーマンのヒアリングが実施できました。ガイドの方が自己研鑽を重ねながら実施されているガイドの内容を知ることができる大変良い機会となりました。ヒアリング内容の取りまとめはこれから学生を中心に進められる予定です。また、今回ヒアリングできなかったガイドの方へのヒアリングも、後日実施できるように川崎先生が裏磐梯エコガイドの会との間で調整しています。（文責 塘）



最初に川崎先生からプロジェクトの紹介と、今回のヒアリングの趣旨説明、実施方法の説明がありました。



ヒアリングは「裏磐梯エコガイドの会」のガイドの方10名に対して、3研究室の教員、院生、学類生10名がペアになり、マンツーマンで実施しました。



梅雨の晴れ間の好天の裏磐梯でしたので、屋外のテーブルに自然探勝路の地図を拡げてヒアリングを実施するペアもありました。プロジェクトの成果をガイドの中で活かして頂くためには、今回のようにガイドの方とプロジェクトのメンバーや学生が顔を合わせて話をするのが大切だと感じました。

